

センサーコネクトを作成する【手順 1】

act-node

:::hero{image=" ../assets/images/connect-manual/_legacy/connect-C-01_step01.png"}

センサーコネクトを作成する【手順 1】

アクト・アップ側で、センサーデータを受信するための「コネクト」を作成します。本章はセンサー全体手順（C-00）の **ステップ 1** に相当します。

センサーの種類ごとに登録内容が変わるため、まず手元のセンサーが何であることを確認してから進めてください。

- 前提
- センサー接続メニューを開く
- センサーの種類を選ぶ
- センサー数を指定して保存する

...

:::tip{title="IoT ストア購入分はこの章をスキップできます"}

アクト・ノード IoT ストアで購入したセンサーは、アプリ側のコネクト作成が完了済みです。手元に届いた時点から、センサー 3) に進んでください。

...

前提

- アクト・アップにログイン済みであること
- 接続するセンサーの種類（機種名、通信方式）が分かっていること
- Webhook 型センサーの場合は、センサー数（データ項目数）を事前に把握していること

ステップ 1：センサー接続メニューを開く

アプリ内のセンサー接続メニューを表示します。

:::steps

:::step{title="メニューバーをタップする"}

画面左上のメニューバーをタップします。



図1：メニューバーをタップ

...

:::step{title="【コネクト - 接続する -】を選択する”}

メニューから {icon:sensor-connect} 【コネクト - 接続する -】を選択します。



図2：コネクトメニュー

…

…step{title=”【センサー接続】を選択する”}

一覧から【センサー接続】をタップします。センサー接続画面が表示されます。



センサー接続

1ユニット

センサーデータをアプリに取り込みます。>
必要チケット：1～5/ユニット



AIカメラ記録

0ユニット

カメラ映像をAIで分析し、
数値データとしてアプリに記録します。>
必要チケット：8～10/ユニット



カムカード

β版

1ユニット

カードを撮影して記録できます。>
必要チケット：1～5/枚



CSVダウンロード

記録データをCSVファイルダウンロードします。
※ フリープランでは利用できません

図3：センサー接続画面

…
…

ステップ2：センサーの種類を選ぶ

接続するセンサーに合わせて、センサーの種類を選択します。本章では Webhook で接続する例として「Any センサー接続」を選ぶ手順を紹介します。

…steps

…step{title=「【新規登録】をタップする」}

センサー接続画面の {icon:add} 【新規登録】をタップします。



📶 TemHawk(EFC400)



センサーからのデータを待っています。
センサーの設定を行なって下さい。

センサー接続待ち

接続済センサー(なし)



図4：新規登録ボタン

...

...step{title="【Any センサー接続】をタップする"}

センサーの種類一覧から【Any センサー接続】をタップします。TempHawk など専用プロファイルがあるセンサーは、該当す



図5：センサー種別の選択

:::note

専用プロファイルがあるセンサー（例：TempHawk）は、種別の一覧にそのまま機種名が表示されます。機種名が見当たらない場合は【センサー接続】を選択してください。

:::

:::

:::step{title="センサー機器名を入力する"}

設置場所や用途が分かる名前（例：「1号ハウス 温湿度」「A棟 給餌タンク」）を「機器名」欄に入力します。

🔗 センサー接続[新規]

センサーの種類を選択

Anyセンサー接続

Webhookで接続

webhook



マナシステム

アクアポニックス統合センサー

webhook



TempHawk(テンプホーク)

温湿度センサー

sigfox



アズビル(水道メーター)

流量メーター

sigfox



LSN50v2-S31B

温湿度センサー

LoRaWAN



LSE01

土壌水分、温度、ECセンサー

LoRaWAN



LSPH01

土壌pHセンサー

LoRaWAN



SW3L

流量センサー

LoRaWAN



図6：機器名入力

…
…

ステップ 3：センサー数を指定して保存する

センサーから受け取るデータ項目の数を指定し、保存します。

…:steps

…:step{title="センサー数を選択する"}

「センサー数」で、センサーから送られてくるデータ項目の数を選択します。

たとえば、温度・湿度・日射・バッテリー残量の 4 項目を送るセンサーの場合、センサー数は **4** になります。

センサーデータを次の内容で記録します 場所、記録名を設定してください。設定が完了するまで、データは記録に反映されません
[Anyセンサ]

1 チケット

センサー数: 1~2



2 チケット

センサー数: 3~6



5 チケット

センサー数: 7~10



図7：センサー数入力

:::warn{title="センサー数を超えるデータは受信されません"}

ここで設定したセンサー数より多いデータを送信した場合、超過分はアクト・アップ側で受信を拒否します。機器仕様を確認し

...

...

:::step{title="【保存する】をタップして完了する"}

入力内容を確認し、{icon:check} 【保存する】をタップします。センサーコネクトが作成されます。



図8：保存ボタン

...

...

作成後の確認

コネクト作成後、センサー接続画面に新しいコネクト枠が表示されます。Webhook 型の場合は、送信先 URL やトークンがこの画面から確認できます。センサー側（または提供元クラウド）に URL とトークンを登録することで、ステップ 2（データ送信設定）に進めます。

...screenshot-placeholder{id="connect-C-01-webhook-url" platform="pc"}

コネクト作成完了後に表示される Webhook 送信先 URL ・トークン画面を撮影。マスキングした上でアップロードする。

...

次のステップ

- 汎用 Webhook 型のセンサーの場合は、センサー側でステップ 2（送信設定）を実施してください。
- TempHawk など専用機種の場合は、次章 S-01 「TempHawk 温湿度センサー 【手順 3～5】」に進んでください。